

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 4 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 4 月 18 日(日) 14 時 20 分—17 時
会 場 (社) 日本心理学会事務局会議室
出 席 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明,
箱田 裕司, 横田 正夫各常務理事
田島信元将来構想検討委員会委員長(オブザーバー)
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会および理事会(3月14日開催)の議事録について一部修正の上,承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 4月6日学術会議心理学教育学委員会に参考人として出席し,日本心理学会は日本学術会議とより緊密な連携を取りながら協力することを確認した。

(2) 日本心理学諸学会連合(以下,日心連)の資格委員会・教育委員会の合同委員会があり日心連としてのカリキュラムの検討を行った。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より,3月1日—3月31日の会員異動状況について,新入会員81名,退会者73名,逝去者2名,その結果,3月31日現在の会員数(賛助会員を除く)は7,348名との報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事(委員会委員長)より,4月10日開催の電子化に伴う執筆・投稿の手びき改訂小委員会について報告があった。

(2) 優秀論文賞選考委員会

箱田編集担当常務理事より,4月10日開催の優秀論文賞選考委員会について,第一次審査候補が決まったことが報告された。

(3) 国際賞選考委員会

丹野国際担当常務理事より,4月5日開催の国際賞選考委員会について功労賞1名,奨励賞4名を決定したとの報告があった。

(4) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事(委員会委員長)より,4月17,18日に開催された公益社団法人化検討委員会について報告があった。

(5) 将来構想検討委員会

オブザーバーとして出席した田島将来構想検討委員長より,報告書案について報告があり質疑応答をおこなった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より,3月末現在の財務状況の報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 27 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 22 名、2(2)に該当する者 3 名、2(4)に該当する者 1 名を入会許可し、1 名は入会不許可となった。

2. 公益社団法人への移行について

仁平総務担当常務理事より、理事会に提案する、新定款案、細則改正案および主要な規程の改正・制定案の提案があり、承認された。

3. 国際交流について

箱田常務理事より、“日本心理学会と韓国心理学会の交流協定に関する覚書”の提案があり、一部修正の上、承認された。今後、韓国と交渉することとした。

また、繁桝理事長より日豪協力協定書について修正提案があり、承認された。

4. 公開シンポジウムの件

箱田常務理事より、公開シンポジウム“頭の良さについて考える——IQ と EI——”について提案があり、承認された。

5. 国際会議旅費補助について

丹野国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請 7 件について提案があり、6 件は一部減額の上、承認され、1 件は以前に補助を受けているとの理由で承認されなかった。

6. 2012 年度第 76 回大会開催校について

丹野常務理事が担当し、今後情報を収集し決定することとした。

7. 転載依頼・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼 1 件について提案があり、著者本人の承諾が得られることを条件に承認された。

また、ホームページ掲載依頼 4 件について提案があり、承認された。

8. 事務局人事について

仁平総務担当常務理事より、常勤嘱託 2 名を職員とすることが提案され、承認された。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 5 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 5 月 16 日(日) 10 時 30 分—13 時
会 場 (社) 日本心理学会事務局会議室
出 席 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明,
箱田 裕司, 横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (4 月 18 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 公益社団法人化の申請についての相談のため内閣府を, また, 情報収集のため特例民法法人のうちで公益社団法人化を申請中の 2 学会を訪問した。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 4 月 1 日—4 月 30 日の会員異動状況について, 新入会員 96 名, 退会者 14 名, 逝去者 2 名, その結果, 4 月 30 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7,436 名との報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 5 月 1 日に開催された編集委員会および 4 月 25 日に開催された “Japanese Psychological Research” のあり方検討小委員会について報告があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 4 月 24 日に開催された認定委員会および認定心理士教科書作成小委員会について報告があった。

(3) 広報・情報化委員会

仁平総務担当常務理事より, 4 月 25 日開催の広報委員会・情報化委員会合同会議について報告があった。

(4) 国際心理学会議招致準備委員会

繁樹理事長 (委員会委員長) より, 5 月 9 日開催の国際心理学会議招致準備委員会について報告があった。

(5) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事より, 5 月 8 日開催の公益社団法人化検討委員会について報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 90 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1) に該当する者 88 名 (内 64 名認定心理士), 2(4) に該当する者 2 名を入会許可した。

2. 理事懇談会について

仁平総務担当常務理事より、理事会懇談会の検討事項について説明があり、議事進行についての提案があり承認された。

3. 平成 21 年度決算・平成 22 年度予算について

高木財務担当常務理事より、平成 21 年度決算案、平成 22 年度予算案について提案があり、承認された。

4. 名誉会員の推戴について

仁平総務担当常務理事より、2 名の名誉会員候補者の推戴があり、承認された。

5. 終身会員の承認について

仁平総務担当常務理事より、8 名の終身会員候補者の提案があり、承認された。

6. 理事会・総会（6 月 19 日）次第について

仁平総務担当常務理事より、6 月に開催される理事会・総会の次第については今後も検討していくこととなった。

7. 国際会議旅費補助について

丹野国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規に基づく申請 11 件について提案があり、一部減額の上、承認された。

8. 会員名簿 2010 について

仁平総務担当常務理事より、2010 年度刊行の会員名簿作成について提案があり、承認された。

9. 協賛・共催依頼

仁平総務担当常務理事より、協賛依頼 1 件について提案があり、承認された。

10. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、9 件のホームページ掲載依頼について提案があり、承認された。

11. その他

(1) 第 74 回大会ポスター発表について、連名発表者に“組織名”が入っているケースは認めないこととし、発表者は“個人”に限ることとした。

(2) 繁樹理事長より ARTS (Advanced Research and Training Seminars) に対する補助についての提案があり、承認された。

公益社団法人日本心理学会 平成 23 年度 6 月常務理事会議事録

日 時 平成 23 年 6 月 4 日(土) 10 時 30 分—12 時 30 分
場 所 公益社団法人日本心理学会会議室
出席者 繁榊 算男理事長, 高木 修, 仁平 義明, 箱田 裕司, 横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子, 坂田 須美子)
議 長 繁榊 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (5 月 14 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

繁榊理事長より, 5 月 7 日に開催された日本心理学諸学会連合の国資格に関わる臨時理事会についての追加の報告があった。国際心理学会議 (ICP2016) の準備が始まり今後加速して行くとの報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 5 月 1 日—5 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員が 28 名, 退会者が 7 名(うち逝去者 2 名), その結果, 5 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は, 7,599 名になったとの報告があった。

3. 委員会報告

(1) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 5 月 21 日開催の認定委員会についての報告があった。

(2) 東日本大震災復興支援特別委員会

理事長より, 5 月 30 日に開催された東日本大震災復興支援特別委員会の安藤委員長からの報告について説明があった。

(3) ICP 実行委員会準備会

繁榊理事長より, 6 月 2 日に開催された ICP2016 実行委員会準備会の報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 4 月末の決算報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 24 件について審議し, 正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 22 名, 2(2)

に該当する者1名，2(4)に該当する者1名について入会を許可した。

2. 平成23年度公開シンポジウム・研修会・講習会

仁平総務担当常務理事より，平成23年度の公開シンポジウム，学術会議との合同シンポジウム，横田認定担当常務理事より研修会の計画について提案があり，承認された。詳細については継続審議とすることとした。

3. 東日本大震災復興支援

繁榊理事長より，5月10日締め切りの“震災からの復興のための実践活動及び研究”の募集につき，5月30日開催された東日本大震災復興支援特別委員会で審議結果の59件のうちから12件を採択する旨の提案があり，承認された。

4. 研究集会助成

仁平総務担当常務理事より，5月31日締め切りの研究集会助成の応募状況につき説明があったが，教育研究委員会で審査を行った後で，継続審議とすることとした。

5. 国際会議旅費補助申請書類

繁榊理事長より，国際会議旅費補助に係る申請書類の書式について提案があり，承認された。

6. 韓国心理学会発表者公募

繁榊理事長より，韓国心理学会発表者の公募について説明があったが，継続審議とすることとした。

7. 心理学会叢書

箱田編集担当常務理事より，心理学会叢書についての業者（4社）に依頼した見積もりの説明があり，1社依頼することが提案され，承認された。

8. 日本認定心理士会への補助金

高木財務担当常務理事より，日本認定心理士会から提出のあった平成22年度事業報告，平成22年度決算，平成23年度事業計画，平成23年度予算について説明があり，講演会等4件について支援することが提案され，承認された。

9. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より，ホームページ掲載依頼が以下5件あったとの報告があり，基準に基づき検討し認めたことが承認された。また，1件について審議し，掲載することが承認された。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 7 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 7 月 24 日(土) 13 時 30 分—17 時 30 分
会 場 (社) 日本心理学会事務局会議室
出 席 繁樹 算男理事長, 高木 修, 仁平 義明, 箱田 裕司, 各常務理事
(事務局 鈴木 厚子, 坂田 須美子)
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (6 月 19 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 7 月 14 日に国際心理科学連合(IUPsyS)の総会が開催され, 2016 年の国際心理学会議(ICP2016)の日本招致が決定したと報告があった。

(2) ITC (International Test Commission) 理事会に出席したが, 今後, 日本心理学会として貢献して行きたいとの報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 6 月 1 日—6 月 30 日の会員異動状況について, 新入会員 61 名, 退会者 5 名, 逝去者 1 名, その結果, 6 月 30 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7, 540 名との報告があった。

(2) 公開シンポジウム等

事務局より, 公開シンポジウムおよび認定心理士研修会の申込状況について報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 7 月 3 日開催の機関紙等編集委員会について報告があり, “ Japanese Psychological Research ” のあり方検討小委員会からの答申が承認されたことが報告された。また, 6 月 26 日開催の電子化に伴う執筆・投稿の手びき改訂小委員会についても報告があった。また, 心理学研究会報に掲載する, 名誉会員の本吉 良治先生の追悼記を清水 御代明先生に依頼することとした。

(2) 心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事より, 7 月 4 日開催の心理学ワールド編集委員会について報告があった。

(3) 優秀論文賞選考委員会

箱田編集担当常務理事より, 7 月 3 日開催の優秀論文賞選考委員会について報告があった。

(4) 選挙管理委員会

繁樹理事長より 7 月 24 日に第一回選挙管理委員会が開催され指名された 6 名の委員 (金子 隆芳, 大村 政男, 鹿取 廣人, 鳥居 修晃, 山岡 淳, 山本 多喜司各委員) の互選により金子 隆芳委員が委員長に指名されたとの報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 6 月末現在の財務状況の報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査について

新規申請のあった25件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者21名(内12名認定心理士)、2(2)に該当するもの3名、2(4)に該当する者1名を入会許可した。

2. 規程改正に伴う運用の変更および規則の改正・制定

(1)各委員会副委員長

仁平総務担当常務理事より、規程の改正に伴い、副委員長が必要となる常置委員会について、理事長から委員会委員長へ副委員長の推薦を依頼する旨の提案があり、承認された。

(2)情報化委員(運用)

仁平総務担当常務理事より、第17回総会で承認された規程に基づき情報化委員会委員を広報委員会委員とする旨の提案があり、承認された。

(3)会費優遇措置に関する規則(運用及び規則制定)

仁平総務担当常務理事より、会費優遇措置に関する規則の制定について提案があり、一部修正のうえ、承認された。

(4)社団法人日本心理学会退職金規則等の、常務理事会で改正すべき規則については、継続審議となった。

3. 韓国心理学会発表

仁平総務担当常務理事より、韓国心理学会発表申込者13名について説明があり、日本心理学会からの発表者として認められた。また、韓国心理学会旅費補助について日韓協力協定に従い、申請のあった1名について承認された。

4. ICP2016について

ICP2016組織委員会を組織することが提案され、承認された。また、委員長に繁榊理事長が推薦され、承認された。

5. 転載依頼・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼3件およびホームページ掲載依頼3件について提案があり、承認された。

6. その他

(1)日本心理学諸学会連合より“国資格に係るカリキュラム案”についての意見を求められている件につき、代議員にアンケートをした上で10月までの常務理事会で回答を作成することとした。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 8 月 常務理事会 議事録

日 時 平成 22 年 8 月 14 日(土) 14 時—18 時 20 分
会 場 (社) 日本心理学会事務局会議室
出 席 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明,
箱田 裕司, 横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子, 坂田 須美子)
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (7 月 24 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 国際心理科学連合(IUPsyS)からアンケートの依頼があり回答した。ただし, アンケートに対する回答は, 日本心理学会が行った 16 大学に対する調査結果に基づいたものであり, 本来はすべての大学に対して行った調査に基づくべきものであることが指摘されていた。その旨, 注記をつけた上で, 結果を IUPsyS に報告したとの報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 7 月 1 日—7 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員 33 名, 退会者 5 名, 逝去者 4 名, その結果, 7 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7, 564 名との報告があった。

(2) 公開シンポジウム等

事務局より, これまでに開催された公開シンポジウムおよび認定心理士研修会の結果, および今後の申込状況について報告があった。

3. 委員会報告

(1) 広報委員会

仁平総務担当常務理事より, 7 月 31 日開催の広報委員会について報告があった。

(2) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事 (委員会委員長) より, 8 月 14 日開催の公益社団法人化検討委員会について報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 7 月末現在の財務状況の報告があった。

5. 平成 21 年度決算資料誤記

繁樹理事長から, 決算資料の誤記があり資料の一部を修正したとの報告があった。この件に関して, 税理士事務所に対して, 厳重注意を行ったとの報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 13 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 13 名 (内 7 名認定心理士) について入会許可とした。

2. 委員会・委員について

繁樹理事長より, 教育研究委員会副委員長候補に楠見 孝氏から就任の内諾が得られた旨報告

があり、承認した。引き続き、仁平総務担当常務理事より、具体的な委員会の業務内容と委員については、9月常務理事会に出席を求めて検討することとした。

3. 常務理事会決定の規則について

仁平総務担当常務理事より、常務理事会決定の規則について審議の提案があり、退職金規則について審議し、一部修正の上承認された。他の規則は、次回以降継続審議となった。

4. 認定心理士教科書刊行について

横田認定担当常務理事より、4社の見積もり結果について説明があり、審議の結果、刊行依頼業者を決定した。

5. 韓国心理学会大会発表者への旅費補助について

丹野国際担当常務理事より、韓国心理学会発表申込者への旅費補助については日韓協力協定に従い、6名の申請者に補助する旨の提案があり、承認された。

6. 心理学ワールドの認定心理士提供価格

箱田編集担当常務理事より、認定心理士へのサービスの一環として、資格取得2年以上経過した認定心理士の購読について割引価格を設ける旨の提案があり、承認された。

割引価格等については、制作会社と協議することとなった。

7. 認定心理士会からの活動資金協力要請

高木財務担当常務理事より、認定心理士会からの活動資金協力要請について説明があり、審議の結果、9月常務理事会にて認定心理士会会長に出席を求め、さらに検討することとした。

8. 協賛・共催依頼

仁平総務担当常務理事より、共催依頼3件について提案があり、承認された。

9. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼3件およびホームページ掲載依頼10件について提案があり、承認された。

10. その他

(1) 繁榊理事長より国際心理学会議（ICP2016）について、組織委員会等の提案があり、審議を行ったが継続審議となった。

(2) 繁榊理事長より The Association for Psychological Science（APS）および The American Psychological Association（APA）との協力協定の締結に向けて前向きに検討することが提案され、承認された。

IV. その他

高木財務担当常務理事より、公開シンポジウムの話題提供者から、公開シンポジウムのテーマに沿った啓蒙書刊行について同意が取れた旨の報告があり、編集作業を進めることが確認された。

以上

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 9 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 9 月 19 日(土) 10 時—13 時 30 分
会 場 ホテル阪急エキスポパーク “いちよう”
出 席 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明,
箱田 裕司, 横田 正夫各常務理事
(オブザーバ 織田 正美理事, 楠見 孝教育研究委員会副委員長)
事務局 鈴木 厚子, 坂田 須美子
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (8 月 14 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 日本心理学会の国際化に関連して, 日本心理学会大会でのシンポジウムに, 次回(2012 年)ICP の組織委員会委員長, IUPsyS 副会長, オーストラリア心理学会会長, 韓国心理学会会長, 副会長を招待し, 今後のアジア心理学会の連合組織に関して話し合うとの報告があった。報告された。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 8 月 1 日—8 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員 22 名, 退会者 11 名, 逝去者 3 名, その結果, 8 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7,572 名との報告があった。

(2) 公開シンポジウム・研修会

事務局より, これまでに開催された公開シンポジウムおよび認定心理士研修会の結果, および今後の申込状況について報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 9 月 4 日開催の編集委員会および, 8 月 13 日開催の電子化に伴う執筆・投稿の手びき改訂小委員会について報告があった。論文の種類の変更が検討されていること, 新電子投稿システムは進捗状況に遅れが出ていることが報告された。

(2) 心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事より, 9 月 12 日開催の心理学ワールド編集委員会について報告があった。心理学ワールド 50 号記念出版の進捗についても報告された。

(3) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 8 月 21 日開催の認定委員会について報告があった。また, 8 月 17 日および 9 月 13 日開催の資格認定小委員会 (旧認定小委員会) について報告があった。

(4) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事 ((委員会委員長) より, 8 月 14 日開催の公益社団法人化検討委員会に

ついて報告があった。

(5) 倫理委員会報告

仁平総務担当常務理事（委員会委員長）より、倫理委員会のメール会議で確認された内容について報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より、8月末現在の財務状況の報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった15件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者7名（内3名認定心理士）、2(2)に該当するもの7名、2(4)に該当する者1名を入会許可とした。

2. 理事会次第について

仁平総務担当常務理事より、9月19日理事会の次第について提案があり、承認された。また、理事会審議事項の“国際会議招致資金に関する覚書”を開催の決定に伴い“国際会議開催資金に関する覚書”とすること、およびその運営費の詳細について記載する旨の提案があり、承認された。

3. 会員集会次第について

仁平総務担当常務理事より、9月19日の会員集会の次第について提案があり、承認された。

4. 委員会・委員について

丹野国際担当常務理事より、国際賞選考委員会委員長、国際委員会副委員長、また、仁平総務担当常務理事より、倫理委員会副委員長、箱田編集担当常務理事より、心理学ワールド編集委員会副委員長の提案があり、承認された。また、教育研究委員会については、繁榊理事長より委員長に仁平総務担当常務理事を、また、副委員長、委員の提案があり、承認された。

5. 教育研究委員会活動構想

仁平総務担当常務理事（委員会委員長）より、教育研究委員会の活動構想について提案があり、審議した。

6. 心理学ワールド50号記念出版

箱田編集担当常務理事より、心理学ワールド50号記念出版を行うに当たり、出版社2社からの見積もりを取り比較し、心理学ワールド誌の制作会社に依頼することが提案され、承認された。

7. 心理学ワールド誌割引価格

箱田編集担当常務理事より、心理学ワールド誌の認定心理士向け年間購読料の割引価格について提案があり、承認された。

8. 国際心理学会議（ICP2016）基本方針

繁榊国際心理学会議組織委員会委員長から基本方針について提案があり、審議の結果、継続審議とすることとした。

9. 南アフリカ心理学会との協力協定（MOU）

繁榊理事長（国際心理学会議組織委員会委員長）より、南アフリカとの協力協定を締結することについて提案があり、承認された。

10. 日本心理学会と韓国心理学会の合同シンポジウムの実施に関する覚書

箱田常務理事より、“韓国との合同シンポジウムの実施に関する覚書”の英文について提案があり、一部修正の上、承認された。

11. 国際会議招致資金に関する覚書

繁樹理事長（国際心理学会議組織委員会委員長）より、国際会議招致資金に関する覚書の運営資金の使用目的の詳細についての提案があり、承認された。

12. ホームページデザイン変更

仁平総務担当常務理事より、ホームページのデザインについて確認があり、常務理事の意見を添えた上で、広報委員会に一任することとした。

13. 日本心理学諸学会連合カリキュラムアンケート

繁樹理事長より、日本心理学諸学会連合のカリキュラムアンケート回答案について提案があり、理事に意見を求めた上で、次回、継続審議し決定することとした。

14. 認定心理士会からの活動資金協力要請

織田 正美認定心理士会会長（オブザーバー）より、日本認定心理士会の活動内容、協力金の必要性についての説明があった。審議の結果、理事長および財務担当常務理事に資金協力の金額を一任することとした。

15. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼 6 件およびホームページ掲載依頼 1 件について提案があり、承認された。なお、大学機関リポジトリへの転載については、今後は、原則として認めることが提案され、承認された。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 10 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 10 月 9 日(土) 11 時—14 時 30 分
場 所 (社)日本心理学会事務局会議室
出席者 繁榊算男理事長, 高木 修, 丹野義彦, 仁平義明,
箱田裕司, 横田正夫各常務理事
(事務局 鈴木厚子, 坂田須美子)
議 長 繁榊算男(理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会(9月19日開催)および9月臨時常務理事会(9月21日開催)の議事録について一部修正の上,承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

次回国際心理学会議(ICP2012)の実行委員長,国際心理科学連合(IUPsyS)副会長,オーストラリア心理学会会長,韓国心理学会会長,副会長を招いた日本心理学会企画シンポジウムは大きな意味があり,成功であったこと,また,このシンポジウムを受けて,今後のアジア各国の心理学会の協力組織を構築するとすれば,日本心理学会がリーダーシップをとるべきとの提言があったことが報告された。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より,9月1日—9月30日の会員異動状況について,新入会員14名,退会者6名,逝去者2名,その結果,9月30日現在の会員数(賛助会員を除く)は7,578名との報告があった。

(2) 公開シンポジウム・研修会・講習会

事務局より,これまでに開催された公開シンポジウム,認定心理士研修会および編集委員会企画講習会の結果および今後の企画への申込状況について報告があった。

3. 委員会報告

(1) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務常務理事(委員会委員長)より,9月21日に開催された公益社団法人化検討委員会について報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より,9月末現在の財務状況の報告があった。

5. 認定心理士会協力金

高木財務担当常務理事より,認定心理士会からの協力金要請について,ワークショップ,シンポジウム,講演会等,一般に公開されている活動の支出については,日本心理学会が後援という形で要請に応じるとの報告があった。なお,後援した事業には,必ず,その旨を記載することを依頼したことも報告された。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった8件のうち,正会員入会審査規程2(1)に該当する者5名,2(2)に該当する

者3名について入会許可とした。

2. 国際心理学会議

繁樹理事長（国際心理学会議組織委員長）より、国際心理学会議組織委員会と日本心理学会の関係に関する覚書について提案があり、審議の結果、さらに調査を行い、再度審議することとなった。

3. 基本財産の取り崩しに関する規程

仁平総務担当常務理事より、公益社団法人化後の基本財産取り崩しに関する規程について提案があり、審議の結果、文言等を再確認し再度審議することとした。

4. 諸規則改定の件

仁平総務担当常務理事より、諸規則の改定について今年度中に整えたいとの提案があり、承認された。

5. 研究集会助成について

丹野担当常務理事より、研究会助成の申請が10件あり、全てに助成することが提案され、承認された。

6. 第76回大会開催校

繁樹理事長より、第76回大会開催校を専修大学に依頼することが提案され、承認された。

7. 出版負担金未払の件

箱田編集担当常務理事（委員会委員長）より、出版負担金長期未払い者の取り扱い方について提案があり、理事長名での最終請求を行い、10月末の期限までに支払いがない場合には、常務理事会が総会に除名案を提案することを決定した。

8. 日本心理学諸学会連合カリキュラムアンケート

繁樹理事長より、日本心理学諸学会連合のカリキュラムアンケート回答案について提案があり、日本心理学会独自の案を日本心理学諸学会連合に提出することが承認された。

9. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼2件（内1件はリポジトリ）およびホームページ掲載依頼9件について提案があり、承認された。なお、(a)大学、文科省、学術会議、独立行政法人等、公的な機関が主催、企画しているシンポジウム、講演、人事情報、研究公募情報など(b)日本心理学会研究集会として承認されている研究集会、シンポジウム、講演など(c)日本心理学諸学会連合加盟学会や、その他心理学関連学会によるシンポジウム、講演、大会の案内(d)過去に掲載をしたことがある団体のシンポジウム、講演、公募情報などのホームページへの掲載は、今後、常務理事会の議を経なくとも、広報委員会が確認し、問題点の指摘がない場合には、原則として認めることが提案され、承認された。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 11 月 常務理事会 議事録

日 時 平成 22 年 11 月 14 日(日) 11 時—14 時 30 分
場 所 日本心理学会事務局会議室
出席者 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明,
箱田 裕司, 横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子, 坂田 須美子)
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (10 月 9 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

11 月 13 日に行われた日本心理学諸学会連合の第 7 回資格委員会・教育委員会合同会議において, 12 月 23 日の理事会を控えて, 国資格についてのアンケートをふまえた議論を行ったことが報告された。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 10 月 1 日—10 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員は 19 名, 10 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7,597 名との報告があった。

(2) 公開シンポジウム・研修会・講習会

事務局より, これまでに開催された公開シンポジウム, 認定心理士研修会および編集委員会企画講習会の結果および今後の申込状況について報告があった。

(3) 会員名簿

事務局より, 会員名簿作成の進捗状況につき報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事(編集委員会委員長)より, 11 月 3 日開催の電子化に伴う執筆・投稿の手びき改訂小委員会について報告があった。

(2) 国際賞選考委員会

丹野国際担当常務理事より, 11 月 3 日に開催された国際賞選考委員会の報告があった。

(3) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 10 月 16 日開催の認定心理士資格認定委員会および 10 月 13 日, 11 月 1 日開催の資格認定小委員会(旧認定小委員会)について報告があった。また, 9 月 21 日開催の認定心理士研修小委員会について報告があった。

(4) 広報委員会

仁平総務担当常務理事より, 11 月 7 日開催の広報委員会の報告があった。

(5) 倫理委員会

仁平総務担当常務理事(委員会委員長)より, 1 件の問い合わせがあったとの報告があった。

(6) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事(委員会委員長)より, 10 月 29 日に公益社団法人移行認定申請をした

との報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より、10月末現在の財務状況の報告があった。

5. 第75回大会打ち合わせ

丹野大会担当常務理事より、11月13日の第75回大会に関する打ち合わせについての報告があった。

6. 国際心理学会議（ICP2016）

繁樹理事長（国際心理学会議組織委員長）より、12月7日から3日間、IUPsySからの視察があるとの報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった15件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者12名、2(2)に該当するもの2名、2(4)に該当する者1名について入会許可とした。

2. 公益社団法人化移行認定に伴う事項

仁平総務担当常務理事より、公益社団法人化移行認定の時期により理事定数、常務理事定数に違いがあることを会報に掲載すること、また掲載内容について提案があり、一部修正の上、承認された。

3. 基本財産の取り扱いに関する規程

仁平総務担当常務理事より、公益社団法人化後の基本財産の取り扱いに関する規程について提案があり、審議の結果、一部修正の上、3月の理事会で提案することを承認した。

4. 諸規則改定の件

仁平総務担当常務理事より、“国際賞選考規則”、“非常勤職員就業規則”、“非常勤職員賃金等規則”、“会費未納者に関する規則”、“講演会等に関わる謝礼等に関する規則”の制定、改定について提案があり、承認された。

5. 出版負担金未払の件

箱田編集担当常務理事（委員会委員長）より、出版負担金長期未払い者の取扱いについて提案があり、審議した。

もし、未払いが続く場合には、除名処分について総会に諮ることを承認した。

6. 平成23年度公開シンポジウム

仁平総務担当常務理事から平成23年度公開シンポジウムの企画について提案があり、6回（3テーマ各2回）とすることが提案され、審議の結果、2つは以下のテーマとし、他の1テーマは研究教育委員会に意見を求めることとなった。

告知とカミングアウトの心理学——障害・ガン・性同一性障害——	担当仁平
無縁社会 臨床・社会心理学等から	担当高木

7. ホームページデザイン業者選定

仁平総務担当常務理事より、広報委員会からデザインを担当する業者についての提案があったことが報告され、広報委員会の提案の業者にホームページデザインを依頼することが承認された。

8. 公益社団法人化認定時の公認会計士・税理士との契約

高木財務担当常務理事より、公益社団法人化認定時の公認会計士・税理士との契約について提案があったが、継続審議とすることとなった。

9. 転載依頼・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼及びホームページ掲載依頼については、10月常務理事会で決定の基準に基づき検討し、認めたことが報告された。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 12 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 12 月 18 日(土) 15 時－18 時
場 所 日本心理学会事務局会議室
出席者 繁樹算男理事長，高木 修，丹野義彦，仁平義明，
箱田裕司，横田正夫各常務理事
(事務局 鈴木厚子，坂田須美子)
議 長 繁樹算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (11 月 14 日開催) の議事録について一部修正の上，承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

日本心理学諸学会連合の 12 月 23 日の理事会を控え，国資格をめぐる議論について報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，11 月 1 日－11 月 30 日の会員異動状況について，新入会員が 9 名，退会者が 1 名，その結果，11 月 30 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7,605 名になったとの報告があった。

(2) 公開シンポジウム・研修会・講習会

事務局より，今年度開催された公開シンポジウム，認定心理士研修会および編集委員会企画講習会の参加者等について報告があった。

(3) 会員名簿

事務局より，会員名簿が完成し発送が完了したとの報告があった。

(4) 公益社団法人への移行認定申請

事務局より，10 月 29 日の公益社団法人移行認定申請後に，内閣府から問い合わせのあった事項について報告があった。

(5) 研究集会の報告書提示要請

事務局より，補助した研究集会の報告書について文部科学省から問合せがあり，資料を提出したとの報告があった。

3. 委員会報告

(1) 機関誌等編集委員会

箱田編集担当常務理事(委員会委員長)より，11 月 13 日に開催された機関誌等編集委員会の報告があった。

(2) 心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事より，12 月 12 日開催の心理学ワールド編集委員会について報告があった。“常務理事会から”欄の増ページについて調整したことも報告された。

(3) 教育研究委員会

仁平担当常務理事(委員会委員長)より，11 月 14 日開催の教育研究委員会について報告があった。

(4) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より、12月11日開催の認定心理士資格認定委員会および、12月1日開催の資格認定小委員会および11月28日に開催された認定心理士研修小委員会の報告があった。

(5) 倫理委員会

仁平担当常務理事(委員会委員長)より、11月7日開催の倫理委員会について報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より、11月末現在の財務状況の報告があった。

5. 国際心理学会議(ICP2016)について

繁榊理事長(ICP2016 組織委員会委員長)より、12月7,8,9日に国際心理科学連合 IUPsyS の役員が来日し、現地視察および国際会議招致準備委員会との会合を行ったとの報告があった。また、組織委員会委員の人選について経過報告があった。

6. 出版負担金未払い者

箱田編集担当常務理事より、11月常務理事会にて審議した、出版負担金長期未払い者から、入金があったとの報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった14件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者12名、2(2)に該当するもの2名について入会を許可した。

2. 委員会任期

丹野国際担当常務理事より、国際賞選考委員会委員の任期を実情に合わせて変更すること、仁平総務担当常務理事(委員会委員長)より、倫理委員会の充実のため一部の委員の任期を変更することの提案があり、当該各委員の了解を得ることを条件として承認された。

3. 基本財産の運用益に関する規程の改正

仁平総務担当常務理事より、公益社団法人化後の基本財産の運用益に関する規程案について提案があり、審議の結果、3月の理事会で提案することを承認した。

4. 公益社団法人認定後の公認会計士・税理士

高木財務担当常務理事より、公益社団法人化認定時の公認会計士・税理士との契約について、その基本方針が提案され、承認された。

5. シンボルマークの件

高木財務担当常務理事より、公益社団法人移行に合わせ新たなシンボルマークを公募する件について再度提案があり、審議を行ったが、継続審議となった。

6. 第77回大会開催校

繁榊理事長より、第77回大会開催校の候補について提案があり審議した。

7. 学術会議との共催シンポジウム

仁平常務理事(教育研究委員会委員長)より、“高校における心理学教育”に関するシンポジウムを、日本学術会議の心理学教育プログラム分科会、高校生への心理学教育ワーキンググループと共催することが提案され、承認された。

8. 共催・後援・協賛

仁平総務担当常務理事より、国際感情学会2011京都大会開催への後援依頼について提案があ

り、審議の結果、後援することによる会員のメリットを問い合わせた上で、再度審議することとなった。

9. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼 2 件およびホームページ掲載依頼 10 件について提案があり基準に該当するかどうかを検討した結果、認めることが承認された。

10. 日本医療保育学会資格更新単位認定に関わるお願い

仁平総務担当常務理事より、日本心理学会の公開シンポジウム・認定心理士研修会を日本医療保育学会資格更新の単位としたいとの依頼があり認めることが提案され、承認された。

11. 日本心理学諸学会連合心理学検定局員の推薦依頼

仁平総務担当常務理事より、心理学検定局員の推薦依頼について説明があり、審議した。

12. 日本認定心理士会のパンフレット

横田認定担当常務理事より、日本認定心理士会から依頼のあった、日本認定心理士パンフレットを認定心理士認定証の送付時に同封する件について、日本認定心理士会の封筒に封入されたものを同封する旨の提案があり、承認された。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 1 月常務理事会議事録

日 時 平成 23 年 1 月 29 日(土) 13 時 30 分—17 時 40 分
場 所 (社) 日本心理学会事務局会議室
出席者 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司, 横田 正夫各常務
理事
(事務局 鈴木 厚子, 坂田 須美子)
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (12 月 18 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

理事長より, 12 月 23 日の日本心理学諸学会連合の理事会についての報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 12 月 1 日—12 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員が 15 名, 退会者はなく 12 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は, 7, 614 名になったとの報告があった。

(2) 代議員選挙

事務局より, 代議員選挙の概要と今後の日程について, 報告があった。

(3) 文部科学省定期報告

事務局より, 文部科学省の定期報告依頼があり報告書を提出したとの報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 1 月 22 日開催の編集委員会, 12 月 25 日開催の電子化に伴う執筆投稿の手びき改訂小委員会および 12 月 26 日開催の “Japanese Psychological Reserch” のあり方検討小委員会について報告があった。

(2) 教育研究委員会

仁平担当常務理事 (委員会委員長) より, 教育研究委員会の活動について説明があり, 調査については詳細を検討中であり, “心理学ミュージアム” の企画についてはホームページに掲載する方向で検討していることが報告された。

(3) 国際賞選考委員会

丹野国際担当常務理事より, 1 月 22 日に開催された国際賞選考委員会の報告があり, 奨励賞 8 名, 功労賞 1 名の応募があり, 奨励賞の審査者を決定したことが報告された。

(4) 選挙管理委員会

繁樹理事長より, 12 月 18 日に開催された第 2 回選挙管理委員会 (金子隆芳委員長) について説明があった。

(5) ICP2016 実行委員会準備委員会

繁樹理事長 (ICP2016 組織委員会委員長) より, ICP2016 の組織委員会の準備状況についての報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 12 月末の決算報告があった。第 74 回日本心理学会大会 (大阪大学) の決算書類が 1 月 11 日に届いたことが報告された。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 47 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 33 名, 2(2)に該当する者 8 名, 2(4)に該当する者 6 名について入会を許可した。

2. 規程・規則改定

箱田編集担当常務理事より、“優秀論文賞選考委員会規程”の変更について提案があり、3月の理事会に提案することが承認された。また、丹野国際担当常務理事より、“国際会議等代表旅費に関する規則”および“国際会議等参加者への旅費補助に関する規則”について提案があり一部修正の上、承認された。

3. Japanese Psychological Research 特集号の件

箱田編集担当常務理事（委員会委員長）より、Japanese Psychological Research の特集の提案があったが、現在、特集が1年以上決まっていることに鑑み、第54巻を1号増やし5号にしたというの提案があり、承認された。今後、必要な手続を開始することを決定した。

4. 平成23年度公開シンポジウム・研修会・講習会

仁平総務担当常務理事より、平成23年度の公開シンポジウム・研修会・講習会の現状について説明があり、審議したが、詳細については継続審議とすることとした。

5. 平成22年度公開シンポジウム出版企画

平成22年度公開シンポジウムのテーマでの出版について、高木常務理事から“利他性の心理と行動”，箱田編集担当常務理事会から“頭の良さとは何か—IQとEI—”を刊行することが提案され、承認された。

6. 心理学ワールド記念刊行および認定教科書の配布先と印刷部数

箱田常務理事より心理学ワールド50号記念刊行、横田常務理事より認定実験教科書の配布先と印刷部数についての提案があり、審議の結果、承認された。

7. Web 会議システムについて

仁平総務担当常務理事より、Web 会議システムについて、教育研究委員会での試用について報告があり、審議の結果、問題がなければ、他の会議でも使用を検討することとした。

8. 公益社団法人認定後の措置

(1) 公認会計士・税理士および公益社団法人会計ソフト導入

高木財務担当常務理事より、公益社団法人化後の公認会計士・税理士および公益社団法人会計ソフト導入についての提案があり、承認された。

(2) 認定証・認定心理士承認文書

横田認定担当常務理事より、日本諸学会連合理事長名の認定心理士承認文書の修正についての提案があり、日本諸学会連合理事長に確認することとした。

9. 大会論文集公開

丹野担当常務理事より、会員と認定心理士への大会論文集の公開を引き続き行うとの提案があり、承認された。

10. 共催・後援・協賛

仁平総務担当常務理事より、協賛依頼が3件あったとの報告があり、基準に基づき検討し協賛を認めたことが承認された。

11. 転載依頼・ホームページ掲載

仁平総務担当常務理事より、ホームページ掲載依頼20件について提案があり、基準に基づき検討し掲載を認めることが承認された。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 2 月常務理事会議事録

日 時 平成 23 年 2 月 20 日(日) 13 時 30 分—17 時 40 分
場 所 (社) 日本心理学会事務局会議室
出席者 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司,
横田 正夫各常務 理事
(事務局 鈴木 厚子, 坂田 須美子)
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回常務理事会 (1 月 29 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

公益社団法人化の申請について順調に審議が進んでいるとの連絡があったとの報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 1 月 1 日—1 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員が 17 名, 退会者が 3 名, その結果, 1 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は, 7, 628 名になったとの報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 1 月常務理事会で承認された “Japanese Psychological Research” の増刊を伴う特集号について, 検討の上, 依頼しないこととしたとの報告があった。

(2) 心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事より, 心理学ワールド 50 号記念刊行について, タイトルが検討されることが報告された。

(3) 選挙管理委員会について

繁樹理事長より, 2 月 10 日に開催された選挙管理委員会 (金子 隆芳委員長), 2 月 11 日に行われた代議員選挙の開票について, 選挙管理委員会から報告があったとの説明があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 1 月末の決算報告があった。また, 公益社団法人化後の公認会計士・税理士の委嘱について報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 191 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 179 名, 2(2)に該当するもの 7 名, 2(4)に該当するもの 5 名について入会を許可した。

2. 平成 23 年度予算案

高木財務担当常務理事より, 公益社団法人化後を想定した平成 23 年度予算案の提案があり, 事業ごとに担当常務理事が検討することとなった。

3. 委員会委員

箱田編集担当常務理事より, 優秀論文賞選考委員会委員の交替について提案があり, 承認された。

4. 規則改定

仁平総務担当常務理事より, “事務処理規則”, “就業規則”, “賃金規則” の変更について提案があり, 審議の結果, 事務処理規則は承認され, “就業規則”・“賃金規則” は継続審議となった。

5. 教育研究事業委託業者選定

仁平総務担当常務理事より, 教育研究委員会の行う調査・心理学ミュージアムの事業を委託する業者について提案があり, 審議の結果, 承認された。

6. 平成 23 年度公開シンポジウム・研修会・講習会

仁平総務担当常務理事より, 平成 23 年度の公開シンポジウム・研修会・講習会の計画について

説明があり、承認された。詳細については継続審議とすることとした。

7. 日本心理学会叢書刊行企画

箱田編集担当常務理事より、公開シンポジウムの成果をまとめ、シリーズとして順次刊行することが提案され、承認された。今年度の公開シンポジウム担当常務理事が具体案を詰めることとした。

8. 公益社団法人認定後の変更点

仁平総務担当常務理事より、‘日本心理学会’の名称を記載してある印刷物等の認定後の変更について審議し、全てを‘公益社団法人日本心理学会’として統一した表記とすることが承認された。

9. 理事会次第

仁平総務担当常務理事より、3月26日開催予定の理事会次第について提案があり審議の結果、一部修正の上、承認された。

10. 大会論文集公開

丹野担当常務理事より、会員と認定心理士への大会論文集の公開を引き続き行うとの提案があり、承認された。

11. 共催・後援・協賛依頼

仁平総務担当常務理事より、‘法・矯正領域における心理学実務家研修プログラム研究会’企画の“法と心理学者による実務家研修”への後援依頼について提案があり、審議の結果、後援することが承認された。

12. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、心理学研究掲載論文の転載依頼について提案があり、審議の結果、転載をこのままでの掲載は許可しないこととした。

また、ホームページ掲載依頼が18件あったとの報告があり、基準に基づき検討し認めたことが承認された。また、1件を審議し、掲載することが承認された。

社団法人日本心理学会 平成 22 年度 3 月常務理事会議事録

日 時 平成 23 年 3 月 26 日(土) 12 時 45 分—15 時 15 分

場 所 (社) 日本心理学会事務局会議室

出席者 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司,
横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子, 坂田 須美子)

議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回常務理事会 (2 月 20 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

日本心理学会のホームページに東北関東大震災のページを立ち上げたとの報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 2 月 1 日—2 月 28 日の会員異動状況について, 新入会員 74 名, 退会者 165 名, 逝去者 2 名, その結果, 2 月 28 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は, 7, 535 名になったとの報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事 (編集委員会委員長) より, 3 月 5 日開催の編集委員会について報告があった。

(2) 心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事より, 3 月 6 日開催の心理学ワールド編集委員会について報告があった。また, 書籍“心理学ワールド” (50 号刊行記念出版) が刊行されたことが報告された。

(3) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 2 月 26 日に行われた認定心理士資格認定委員会と, 12 月 22 日および 2 月 14 日開催の資格認定小委員会について報告があった。

(4) 繁樹理事長より, 3 月 4 日及び 3 月 10 日に行われた ICP 実行委員会準備会の報告があった。

(5) その他

繁樹理事長より, 3 月 11 日の地震の影響で 3 月 13 日に開催予定であった ICP 実行委員会は中止, 3 月 15 日に開催予定であった国際賞選考委員会は延期となったことが報告された。

4. 理事・監事選挙

繁樹理事長より, 3 月 26 日午前中に行われた理事・監事選挙につき, 選挙管理委員会 (金子 隆芳委員長) から結果の報告があったとの説明があった。

5. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 2 月末の決算報告があった。

6. 公益社団法人化移行認定

仁平総務担当常務理事 (公益社団法人化検討委員会委員長) より, 3 月 22 日付で公益社団法人の認定書が交付されたとの報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 20 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1) に該当する者 13 名, 2(2) に該当するもの 4 名, 2(4) に該当するもの 3 名について入会を許可した。

2. 平成 23 年度予算案

高木財務担当常務理事より, 公益社団法人化後を想定した平成 23 年度予算案の提案があり, 事業ごとに担当常務理事が検討することとなった。

3. 規則改定

仁平総務担当常務理事より, “就業規則” および “賃金規則” の変更について提案があり, 審議の結果, 承認された。

4. 平成 23 年度公開シンポジウム・研修会・講習会

仁平総務担当常務理事より、平成 23 年度の公開シンポジウム・研修会・講習会の計画について提案があり、承認された。詳細については継続審議とすることとした。

5. 日本心理学会叢書刊行企画

高木常務理事、箱田常務理事より、公開シンポジウムの成果をもととした叢書刊行につき、企画案の提案があり、承認された。シリーズ名等詳細については継続審議となった。出版社から見積もりを取ることもあった。

6. 理事会議案

仁平総務担当常務理事より、3月26日午後開催予定の理事会の議案について提案があり、承認された。

7. 委員会委員長及び委員交替、特別委員会の解散

仁平総務担当常務理事より、教育研究委員会の委員長交代について提案があり、承認された。また、箱田編集担当常務理事より、心理学ワールド編集委員会委員の交替について提案があり、承認された。また、公益社団法人化検討委員会の解散について提案があり、承認された。

8. 東北関東大震災への対応

繁柁理事長より、“東北関東大震災に関する日本心理学会理事会声明”を公表することが提案され、承認された。また、特別委員会を立ち上げ、実践及び研究助成についての提案、被災会員への会費・被災認定心理士の認定証の再発行費用の免除について提案もあり、これらの件についても承認された。

9. 認定心理士会への援助

高木財務担当常務理事より、認定心理士会から平成 23 年度の協力要請のための事業企画案が届いたことが報告された。協力金決定には平成 22 年度決算、平成 23 年度予算が必要であり、これらを請求することとなった。

10. 共催・後援・協賛依頼

仁平総務担当常務理事より、協賛依頼が 1 件あったとの報告があり、基準に基づき検討し認めたことが承認された。

11. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、大学リポジトリへの掲載依頼が 2 件あったとの報告があり、基準に基づき検討し認めたことが承認された。また、ホームページ掲載依頼が 21 件あったとの報告があり、基準に基づき検討し掲載を認めたことが承認された。

12. その他

(1) 仁平総務担当常務理事より、発表者よりの第 74 回大会発表論文の取り下げ依頼について説明があり、承認しないこととした。

(2) 丹野担当常務理事より、平成 23 年度研究集会助成公募のホームページ掲載について提案があり、承認した。

(3) 丹野担当常務理事より、平成 23 年度 国際会議旅費補助の募集について、年 2 回 4 月末と 9 月末締め切りで募集し、ホームページに掲載することが提案され、承認した。